

造影 CT 検査説明書

患者 ID

患者氏名

様

検査日

1. 造影剤を注射する理由

造影剤（ヨード含む）を注射して検査を行うことによって、より正確な診断を行うことができます。通常、健康な方では造影剤は注射後速やかに腎臓から尿中に排泄され、約24時間以内に体外に排泄されます。排泄を促すためにも水分を多めに摂ってください。

2. 次に該当する方は造影剤の注射ができないことがありますので、事前にお知らせください

- 1) 過去に造影剤を使用した検査を受けたことがあり、その際に気分が悪くなった方。
- 2) 気管支喘息がある。または、薬・食物アレルギーがある。また、両親・兄弟に該当者がいる方。
- 3) 重篤な腎臓病、甲状腺機能亢進症などの病気がある方。
- 4) 妊娠している方。または、妊娠している可能性がある方。

3. 造影剤の副作用などについて

造影剤は副作用の少ないものが開発され、安全な薬品ですが、副作用が起こることがあります。

- ① 軽い副作用：吐き気、頭痛、腹痛、下痢などが100人に3人ぐらいに認められますが、治療を必要としないものがほとんどです。
- ② 重い副作用：まれに呼吸困難、血圧低下、意識障害、ショックなどが1000～10000人に1人の割合で見られます。万が一、副作用が起こった場合には、迅速かつ最善の処置を行います。
- ③ 死亡例の報告：非常にまれですが、様々な処置を行っても、病状・体質によっては、25万～30万人に一人の確率で死亡例の報告があります。
- ④ 前記2に該当する方は副作用を起こす危険性があります。
- ⑤ 注入する時、造影剤が血管外に漏れ、腫れて痛みが生じることがあります。通常は自然に吸収されますが、時に処置が必要になることもあります。
- ⑥ 検査終了後、遅発性(30分から数日後)に頭痛、発疹、かゆみ、吐き気などの症状が現れることがあります。

このような症状はほとんど一時的なものなのですが、ご心配であれば、検査依頼科、放射線科受付、救急外来までご連絡ください。

燕労災病院 電話0256-64-5111 (代表)

ご不明な点がございましたら、担当医または検査担当者に遠慮なく、ご質問をしてください。